

早池峰岳神楽の 継承と伝播

佛教大学研究叢書18



岳神楽 山の神舞

なかしま・なつこ……
1965年岩手県盛岡市生。2012
年佛教大学大学院文学研究科博士後期
過程（通信教育課程）修了。博士（文学）。

中嶋奈津子著

【二〇一三年二月刊行】

▼A5判・二四〇頁／定価 四、八三〇円（税5%込）

ISBN978-4-7842-1676-5

早池峰神楽とは、岩手県北上高地の主峰早池峰山麓の二つの集落に伝承される岳神楽と大償神楽の総称である。いずれも成立より五〇〇年以上伝承されていることがわかっており、二〇一〇年にユネスコ無形文化遺産に登録されている。本書は岳神楽と、その流れを汲む神楽に着目し、その師弟構造と機能、さらに岳神楽の継承と伝播がどのような形でなされてきたのかについて、時代背景を踏まえながら解き明かす。

◎予定目次◎

序章 本書の研究目的と構成

第一章 早池峰神楽における研究

一 従来の早池峰神楽研究―起源と芸能論を中心とした研究―

二 継承と伝播に触れた先行研究

第二章 早池峰山信仰と神楽

一 早池峰神楽の背景

二 早池峰神楽の伝承地域

三 早池峰岳神楽と岳集落

四 早池峰大償神楽の成立と変遷

五 早池峰岳神楽の近現代



岳神楽 権現舞

第三章 弟子神楽の条件

一 旧花巻市の早池峰岳系神楽

二 旧東和町の早池峰岳系神楽

三 弟子神楽の条件

第四章 早池峰神楽における「神楽由来書」と

「言い立て本」―旧石鳥谷町を中心に―

一 旧石鳥谷町の早池峰岳神楽の流れを汲む神楽

二 八幡神楽とその系譜

三 貴船神楽とその系譜

四 種森神楽とその系譜

五 弟子神楽の経緯からみる特徴

六 旧石鳥谷町における神楽の伝播

第五章 旧東和町における弟子神楽の変遷

一 早池峰岳神楽における弟子神楽

二 弟子神楽の具体事例

第六章 弟子神楽の成立過程

一 弟子神楽成立の背景―伝播の核となる神楽の存在

二 弟子神楽の成立期分類

三 早池峰岳神楽の伝播した理由

終章 研究の成果と今後の課題

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	早池峰岳神楽の継承と伝播		本体4,600円(税別) ISBN978-4-7842-1676-5	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） ☐ 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）		本書HPのQRコード		

書店番線印

三匹獅子舞の研究

笹原亮二著

神奈川県北部に伝わり、現在も演じられている三匹獅子舞をどのように理解し、記述することができるのか。三匹獅子舞の上演の実態に焦点を定め、どのように上演しているかを、観察とインタビューを主とした現地調査によって得た情報・資料によって解明を試みる。従来の民俗芸能研究の枠組みに変わる、新しい理解のかたち。

▶A5判・330頁／定価 6,825円 ISBN4-7842-1151-9

口頭伝承と文字文化

笹原亮二編

文字の民俗学 声の歴史学
フィールドワークによる資料、文字で伝えられた資料の扱いに着目し、新たな研究法を提示。【目次】「口頭伝承と文字文化」の位相(小池淳一・笹原亮二)メディア(大島建彦・小池淳一・宮内貴久・井上智勝)地域社会(山本英二・笹原亮二・青柳周一)歴史(川島秀一・榎美香・西田かほる・久野俊彦)「口頭伝承と文字文化」の周辺(西尾哲夫・小田淳一・長崎伸仁)

▶A5判・444頁／定価 7,350円 ISBN978-4-7842-1447-1

太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相

武田佐知子編

美術、文学、宗教、芸能史的研究を集成し、ニーズとともに変化する信仰の形態、それに付随するイメージの付与、宗派や地域を越えて多面的に利用される両信仰の進化形について解明した比較研究。【執筆】武田佐知子・鶴崎裕雄・高島幸次・濱岡伸也・下鶴隆・松本真輔・伊藤純・榊原小葉子・稲城正己・脇田晴子・松浦清・鈴木幸人・竹居男男

▶A5判・354頁／定価 6,825円 ISBN978-4-7842-1473-0

阿蘇下野狩史料集

飯沼賢司編

阿蘇の五岳の西山麓に広がる広大な原野、下野。そこで中世に行われた「下野狩神事」は、源頼朝の富士の巻狩りの手本となったとされている焼き狩神事であり、阿蘇宮最大の重要行事であった。その史料である、永青文庫所蔵『下野狩日記』『下野狩旧記抜書』とその関連文書、阿蘇家所蔵下野狩関連史料を翻刻。解題、用語解説を付す。

▶A5判・314頁／定価 7,875円 ISBN978-4-7842-1611-6

宮古島狩俣の神歌 その継承と創成

内田順子著

歌われている歌を対象に、そこから「神歌のかたち」——神歌が神歌として成り立つための条件——を取り出すことを試みる。神歌を歌う人が、最低限なにを知っていなければならないかを探る。

【目次】神をまつる人たち／神歌をならう／神の名／神の座敷／神の思い／やわらいであれ／神歌のかたち／神歌の伝承と変容

▶A5判・300頁／定価 6,930円 ISBN4-7842-1036-9

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編

天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』(貞観儀式)。本書は、皇學館大学神道研究所が長年に亘り取り組んできた、現存本『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀 上・中・下」の訓読・注釈研究の成果。皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年記念出版。

▶B5判・890頁／定価 15,750円 ISBN978-4-7842-1619-2

天皇・将軍・地下楽人の室町音楽史

三島暁子著

南北朝・室町時代を通じて天皇・将軍が学び、権威のシンボルとなった「笙」。本書では、天皇家・將軍家の笙の御師範として重要な役割を果たした地下楽人豊原氏の南北朝期から約150年にわたる活動に着目し、公・武・楽家という3者の関わりのなかから、権威に密接にかかわった音の文化を考察。

▶A5判・360頁／定価 6,930円 ISBN978-4-7842-1609-3

京舞井上流の誕生

岡田万里子著

【2013年2月刊行予定】
京都の祇園に伝承される京舞井上流。日本舞踊のなかでも異彩を放つこの流派は、いかに誕生したか。本書は、近世から近代にいたる流派の歴史を検証し、伝承作品群の成立背景を考証。堂上・花街文化、そして、能、人形浄瑠璃、歌舞伎といった他の芸能の影響を確認しつつ、その豊饒な母胎—近世後期京都における芸能の世界の解明に挑む。

▶A5判・500頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1672-7

祭礼と芸能の文化史

蘭田稔・福原敏男編

神社史料研究会叢書Ⅲ

神社史料の有効活用・研究を目的とした研究会の成果。神社を祭場・舞台として繰り上げられる祭礼と芸能を特集。【目次】神社廻廊の祭儀と信仰／相模節会と楽舞／中世諏訪祭礼における王と王子／鹿島神宮物忌職の祭祀／越前志津原白山神社の祭礼芸能／武蔵国幕閣大名領における祭礼の振興／近世鶴岡八幡宮祭礼としての面掛行列ほか

▶A5判・300頁／定価 6,825円 ISBN4-7842-1159-4

神仏習合の歴史と儀礼空間

嵯峨井建著

【2013年2月刊行予定】

神道と仏教との関わりを、神社・寺院の儀礼空間を視点に論じ、神仏習合の実態を解明。神宮寺における神祇奉斎、寺院附属の鎮守社、仏教儀礼である神前読経、神職系図に基づいた神道周縁の仏法との関わり、神仏への天皇行幸、中近世をうじた京都における神仏習合など、豊富な事例とともに神仏習合の諸形態を丹念にまとめた実証研究。

▶A5判・430頁／定価 9,030円 ISBN978-4-7842-1671-0

民俗文化複合体論

芳井敬郎著

江馬賞(日本民俗学会)受賞

民俗文化を生活の諸相の複合体と捉え、多岐にわたる個別研究を総合し、根底にある民族性を抽出。客観性を重視し、個別研究の範囲で民俗事象の分析に終始してきた従来の民俗学への異議申し立ての書。

【目次】民俗文化の概観と研究法／信仰と心意の諸相／衣食住生活の展開／民俗技術と生業／都市文化の展開／儀礼文化の内実

▶A5判・460頁／定価 6,930円 ISBN4-7842-1237-X

神霊の音ずれ 太鼓と鉦の祭祀儀礼音楽

朱家駿著

祭祀儀礼に用いられる太鼓や鈴・鉦の音楽的な機能と本質はどこにあるのか—祭祀儀礼の音を探るフィールドワークと象形文字に発した古代漢字(音・楽・鼓など)の分析を重ね合わせるにより神霊と音の諸相を解明。【目次】祭祀儀礼音楽研究序説／神霊の音ずれ／水の神・音楽の神／祭神・祭礼の諸相／楽の器／銅鼓のコスモロジー

▶A5判・196頁／定価 3,675円 ISBN4-7842-1095-4

増補 陰陽道の神々

斎藤英喜著

佛教大学鷹陵文化叢書17

コーンピア大学での発表をもとにした論考“牛頭天王の変貌と「いざなぎ流」”を収録して増補再版。疫神や式神、泰山府君、牛頭天王、八王子、金神、盤牛王、そして式王子、呪詛神たち……。彼らは近代社会が封印し、消去した「陰陽道」の神々である。本書は、知られざる陰陽道の神々の来歴と素顔を平易に説く。

▶46判・356頁／定価 2,415円 ISBN978-4-7842-1644-4

祭りのしつらい 町家とまち並み

岩間香・西岡陽子編／京極寛写真

祇園祭・天神祭をはじめ、城端(富山県)や倉敷など各地の祭り飾りや造り物などをとりあげ、町家とまち並みを飾る祭りの文化を紹介。カラー60頁。【目次】座敷を飾る／絵画に見る祭りのしつらい／屏風祭の戦後60年／祭りのしつらいと町家・町並み／祭りの住文化とまちづくり／都市祭礼の最前線／造り物の諸相

▶B5判・224頁／定価 2,310円 ISBN978-4-7842-1360-3

祇園祭の中世 室町・戦国期を中心に

河内将芳著

祇園祭を通し中世京都を考察 【目次】祇園会の見物(室町期祇園会と公武政権／祇園会を見物するということ)神輿渡御・御旅所・駕輿丁(中世の祭礼と都市空間／祇園会神輿駕輿丁と今宮神人)再興された祇園会(戦国期祇園会の再興と佐興／「戦国期の祇園祭」論)山鉦巡行・風流・蘭取(祇園会山鉦蘭取考／乗牛風流と鶴鉦に関する考察)

▶A5判・360頁／定価 4,725円 ISBN978-4-7842-1631-4

近世上方歌舞伎と堺

齊藤利彦著

歌舞伎学会奨励賞受賞

佛教大学研究叢書14

特に上方歌舞伎が特質を大きく転換した化政期から幕末期の実態を究明する。さらに上方歌舞伎の地域的展開や興行史的検討という観点についても考察。堺における歌舞伎興行の全貌を解明することで、京・大坂の興行、さらには大芝居、中々芝居の役者たちの動向をも照射し、上方歌舞伎の地域的展開の一端を明らかにする。

▶A5判・348頁／定価 6,615円 ISBN978-4-7842-1608-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。